

TOPPAN FORMS

第58期 TOPPAN FORMS INTERIM REPORT

事業のご報告

第2四半期 平成23年4月1日～平成23年9月30日



The Form of
Communication

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、第58期第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年9月30日、以下「当第2四半期」)における事業の概況についてご報告申し上げます。

当社を取り巻く環境と取り組み

当第2四半期におけるわが国経済は、東日本大震災、福島原発事故による低迷から、緩やかな持ち直しの兆しは見られたものの、欧米経済の不安を背景とした円高や株安などにより、先行き不透明な状況が続きました。

ビジネスフォーム業界におきましても、企業の経費削減の徹底や、震災の影響およびそれに伴う販売促進施策の先送りによる需要量の減少、製紙会社の生産設備の被災による用紙の供給不足など、厳しい経営環境が続きました。

このような状況のなかで、当社グループは、顧客の課題をワンストップで解決する総合的な情報管理ソリューション企業として、印刷のデジタル化を核にした既存事業のシェア拡大とグローバル展開をにらんだ新事業・新市場の開拓、新サービスの創出に取り組みました。また、製造・物流体制の再編による構造改革など、事業活動全般にわたる経営基盤の充実に向けた活動に取り組みました。

事業展開と業績

主な事業展開といたしましては、ビジネスフォーム分野におきまして、様々な利用者にとっての分かりや

すさ、伝わりやすさを追求するユニバーサルデザインを核とした顧客コミュニケーションや、業務プロセスを効率化するためのビジネスモデル提案を推進するとともに、海外進出企業に対する拡販を図りました。

DPS分野におきましては、デジタルプリント技術と可変データの運用ノウハウを活用したバリエブル印刷物の拡販や、震災以降増加する事業継続計画(BCP)ニーズなどに対応したビジネスプロセスアウトソーシング提案を推進しました。また、生産性向上と品質保証強化を目的として、基幹工場である滝山工場において、一貫製造へのシフトを進めました。

電子メディア分野におきましては、決済プラットフォームサービスなど、近距離無線通信規格(NFC)技術を活用した新サービスの開発に注力しました。また、自動無線認識(RFID)関連の高機能製品や、機器・システムを組み合わせたパッケージ製品の開発とともに、印刷技術を活用した電子部品開発に取り組みました。

以上の結果、当第2四半期の連結売上高は1,075億円(前年同期比4.7%減)、経常利益は48億円(前年同期比22.1%減)、四半期純利益は24億円(前年同期比13.3%減)となりました。

社会的責任に対する取り組み

環境問題への対応につきましては、環境負荷の低減に向けた活動を推進しました。特に、今夏の節電対応では全事業所で細かな対応を実施し、省エネルギー対策を推進しました。

また、先の東日本大震災での教訓に基づき、初動対

応を定める震災対策基本計画を見直すと共に、従来、関東および関西地区におけるDPS事業を対象に策定していたBCPを地域的、事業的に拡大することを計画しており、事業継続体制のより一層の充実を図っております。

個人情報保護に関しましては、社内監査体制の強化を行うなどして、その機能の充実に努めております。

今後の見通し

わが国経済は、東日本大震災の影響により景気は足踏み状態にある中、米国の追加金融緩和策や欧州の債務問題の先行き不透明感から、10月に入り円相場が最高値を更新し、さらに、タイの大洪水による日本企業への影響など、予断を許さない状況が続いています。

また、ビジネスフォーム業界での当社グループの市場環境においても、企業の経費節減や電子化による需要構造の変化、設備投資の抑制など、厳しい状況が続くものと予想されます。

このような状況を踏まえ当社グループは、ビジネスフォームやDPS、IC関連、eビジネス関連で培った技術を応用、進化させ、既存事業におけるプリント業務の一括受託への対応、成長事業としてのNFC技術を活用した決済プラットフォームサービスの新会社設立、グローバル展開として、広州トッパン・フォームズ社を設立し中国市場でのダイレクトメールの拡販を図ります。また、構造改革としての首都圏製造部門の効率化に向けた新会社設立など、積

極的な投資を進め、企業体質の強化と業績向上につとめてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



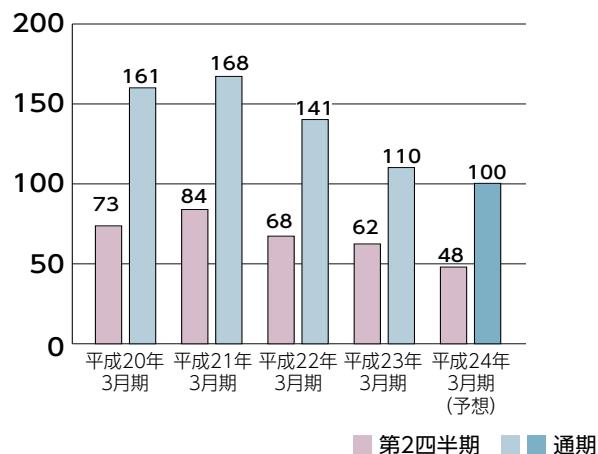
平成23年12月

代表取締役社長 櫻井 醜

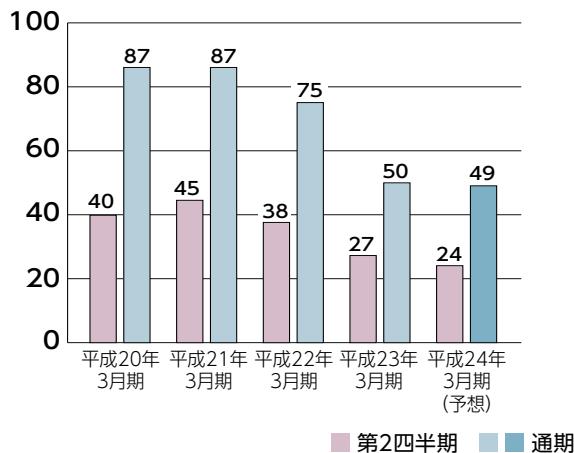
売上高 (単位: 億円)



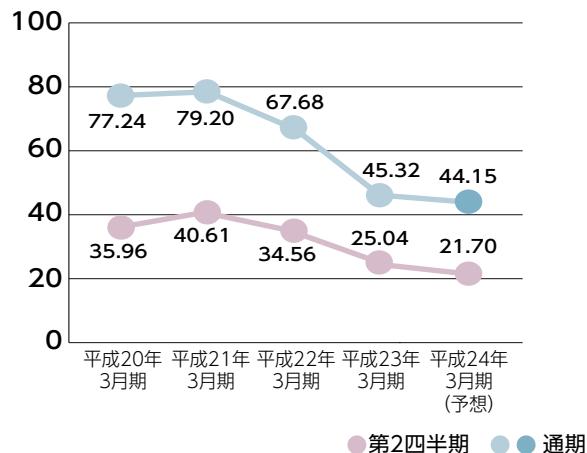
経常利益 (単位: 億円)



四半期純利益 (単位: 億円)



1株当たり四半期純利益 (単位: 円)



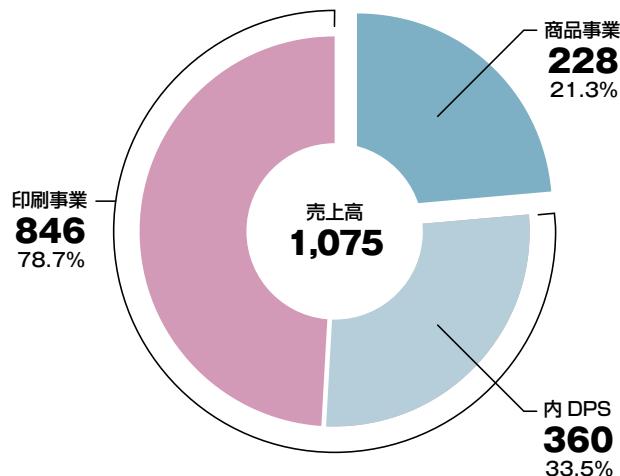
印刷事業

売上高 846 億円 (対前年同四半期 4.3%減)

ビジネスフォームでは、利用者にとっての分かりやすさ、伝わりやすさを追求するユニバーサルデザインを核とした顧客のコミュニケーションや、業務プロセスを効率化するためのビジネスモデル提案を進め、シェア拡大を目指しましたが、震災による企業活動の停滞や経費削減の徹底に伴う帳票類の需要減、価格競争の激化などにより、前年を下回りました。

DPS では、金融機関を中心に事務用通知物の紙媒体と電子媒体を効果的に組み合わせるクロスメディア提案や、デジタルプリント技術と可変データの運用ノウハウを活用したパリアブル印刷物などの拡販を図りました。また震災以降増加するBCPニーズなどに対応したビジネスプロセスアウトソーシング提案を推進しましたが、通知物の電子化や簡素化、価格競争の激化、販売促進用ダイレクトメールの減少などにより、前年を下回りました。

売上高部門別構成比 (単位: 億円)



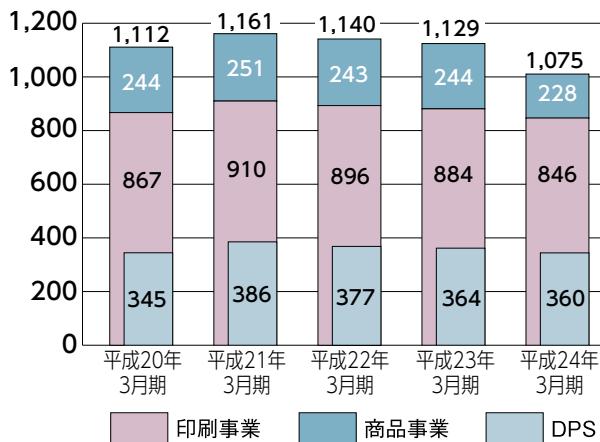
商品事業

売上高 228 億円 (対前年同四半期 6.4%減)

サプライ品は、環境に配慮した消耗品や節電関連商品を拡販するとともに、オフィス用品調達システムの提案を推進しましたが、販売価格の下落と震災の影響に伴うオフィス用品(用紙類)の供給不足などにより、前年を下回りました。

事務機器関連は、プリンター関連新商品の拡販や、メーリングシステムのシェア拡大に向けた販売の強化などにより、微増となりました。

部門別売上高の推移 (単位: 億円)



クリエイターズ・チャリティーイベント 「きずな展」開催

5月23日から29日の7日間、東京・汐留のトッパンフォームズビルにおいて、東日本大震災により被災された方々の支援を目的としたチャリティーイベント「きずな展」を開催しました。永井一正さん、葛西薫さんほか、本イベントの趣旨にご賛同いただいたイラストレーター、デザイナー、作家など150名を超えるクリエイターの方々よりご提供いただいた作品を展示し、札入れ方式のサイレントオークションでの販売を行いました。また、ご提供いただいた作品をデジタルデータ化し、弊社のデジタルプリント技術で作成したポストカードの販売も行い、合計約500万円全額を日本赤十字社を通じ震災復興の義援金として寄付いたしました。



高性能保冷技術とクラウド技術を融合した 「温度管理トレーサビリティサービス」の提供を開始

温度センサー付きRFIDタグを活用したSaaS型クラウドサービスを提供しているNEC（日本電気株式会社）との協業により、当社が保有する高性能保冷剤「メカクール」と保冷箱を活用し、出荷から納品までの低温維持と全行程の一貫した温度履歴情報の管理を可能とした、温度管理トレーサビリティサービスの提供を開始しました。

従来、保冷・輸送の温度管理は、トラックや倉庫に固定された温度測定器で定点的に測るのが中心でした。しかし、近年、安全・安心への意識の高まりから、「出荷から納品まで途切れなく温度変化を把握したい」というニーズが急激に高まってきており、これに対応するために開発したシステムです。温度管理品質の向上と計測作業の簡素化を実現しました。



用途に合わせた3形状の 金属対応UHF帯ICタグを開発

運搬時などに使用されるカゴ車(金属製の台車)の金属部分を通信アンテナとして活用することで、安定した通信を実現し、さまざまな角度から同時に複数のタグを読み取ることができる、カゴ車管理用のUHF帯ICタグを開発しました。使用する環境に合わせて選択、組み合わせができるようにワンタッチ型、バンド型、チューブ型の3種類の形状を開発しました。

商品輸送や一時的な保管などで使われるカゴ車の管理では、台帳への記入やバーコード管理などのはん雑な作業が必要となり、出荷先からの返却遅れによる不足や、紛失の発生などが大きな問題となっていました。また、従来のICタグでは、通信時のカゴ車の金属部分が干渉し、安定して読み取ることができませんでした。



フィード性能と糊対策に優れたオリジナルプリンター EXフォーム用「レーザープリンター 8035EX」発売

運輸業界を中心に使用されている三層擬似接着ラベルであるEXフォーム用に、フィード性能に優れ、糊漏れ対策も万全なEXフォーム用「レーザープリンター 8035EX」を開発し、販売を開始しました。

オフィス用プリンターの多くは、小型軽量化、省電力化を開発コンセプトとしたものが中心となっており、高いフィード性能が要求されるEXフォームへの印字が難しくなっていました。

また、運輸業界では、短時間に大量の発送処理が行われており、フィードエラーや糊漏れトラブルによる印字の遅延は、業務に大きな支障を来すことになるため、EXフォームに特化したプリンターの開発要望が、多くのお客様から寄せられていました。



四半期連結貸借対照表 (単位:百万円)

	当第2四半期 平成23年9月30日現在	前連結会計年度 平成23年3月31日現在		当第2四半期 平成23年9月30日現在	前連結会計年度 平成23年3月31日現在
資産の部			負債の部		
流動資産	94,532	91,309	流動負債	41,814	41,915
現金及び預金	35,161	31,698	支払手形及び買掛金	27,356	26,096
受取手形及び売掛金	38,913	40,322	短期借入金	367	354
有価証券	2,432	2,431	1年内返済予定の長期借入金	85	181
商品及び製品	9,189	8,141	1年内償還予定の社債	—	200
仕掛品	1,506	971	未払法人税等	1,626	1,730
原材料及び貯蔵品	2,124	2,213	賞与引当金	3,858	4,034
繰延税金資産	1,980	2,060	役員賞与引当金	21	55
その他	3,483	3,805	資産除去債務	89	28
貸倒引当金	△ 258	△ 335	設備関係支払手形	1,420	1,741
			その他	6,988	7,493
固定資産	92,763	95,267	固定負債	3,731	3,927
有形固定資産	67,714	70,140	長期借入金	14	51
建物及び構築物	30,422	31,032	退職給付引当金	2,728	2,803
機械装置及び運搬具	12,517	13,795	役員退職慰労引当金	134	158
工具、器具及び備品	2,003	2,079	繰延税金負債	137	128
土地	22,629	23,040	資産除去債務	653	710
リース資産	57	74	その他	62	75
建設仮勘定	83	118	負債合計	45,545	45,843
無形固定資産	3,176	3,246	純資産の部		
その他	3,176	3,246	株主資本	141,906	140,885
投資その他の資産	21,872	21,880	資本金	11,750	11,750
投資有価証券	13,077	13,258	資本剰余金	9,270	9,270
繰延税金資産	2,749	2,773	利益剰余金	125,803	124,782
その他	6,375	6,067	自己株式	△ 4,916	△ 4,916
貸倒引当金	△ 329	△ 218	その他の包括利益累計額	△ 647	△ 671
			その他有価証券評価差額金	91	63
			為替換算調整勘定	△ 738	△ 735
			新株予約権	35	47
			少数株主持分	455	472
			純資産合計	141,750	140,733
資産合計	187,296	186,576	負債純資産合計	187,296	186,576

四半期連結損益計算書 (要旨) (単位:百万円)

	当第2四半期 平成 23 年 4 月 1 日～ 平成 23 年 9 月 30 日	前第2四半期 平成 22 年 4 月 1 日～ 平成 22 年 9 月 30 日
売上高	107,551	112,906
売上原価	84,658	88,580
売上総利益	22,892	24,325
販売費及び一般管理費	18,250	18,406
営業利益	4,641	5,919
営業外収益	412	492
営業外費用	185	163
経常利益	4,868	6,248
特別利益	117	400
特別損失	367	1,616
税金等調整前四半期純利益	4,618	5,032
法人税、住民税及び事業税	2,097	2,556
法人税等調整額	130	△ 309
少数株主損益調整前四半期純利益	2,390	2,784
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△ 17	5
四半期純利益	2,408	2,779

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨) (単位:百万円)

	当第2四半期 平成 23 年 4 月 1 日～ 平成 23 年 9 月 30 日	前第2四半期 平成 22 年 4 月 1 日～ 平成 22 年 9 月 30 日
I . 営業活動によるキャッシュ・フロー	8,515	9,271
II . 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,288	△ 7,966
III . 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,748	△ 1,866
IV . 現金及び現金同等物に係る 換算差額	△ 32	△ 52
V . 現金及び現金同等物の 増加額 (△減少額)	3,446	△ 613
VI . 現金及び現金同等物の 期首残高	34,121	32,859
VII . 現金及び現金同等物の 四半期末残高	37,567	32,245

会社概要

平成23年9月30日現在

商号	トッパン・フォームズ株式会社
英文名	TOPPAN FORMS CO., LTD.
本店所在地	東京都港区東新橋一丁目7番3号
電話	(03) 6253-6000 (ダイヤルイン案内)
設立	昭和30年5月2日
資本金	117億5,000万円
発行済株式総数	115,000,000株
従業員数	2,425名

役員

平成23年9月30日現在

代表取締役社長	櫻井 醜	取締役	黒羽 二郎
取締役副社長	新田 健二	取締役	福嶋 賢一
専務取締役	加藤 栄司	取締役	小山 信彦
専務取締役	増田 俊朗	取締役	宮下 裕司
専務取締役	玉田 健治	取締役	池内 秀行
常務取締役	広村 俊悟	常任監査役(常勤)	永田 明裕
常務取締役	関岡 修次	監査役(常勤)	小山内 鏗爾
取締役	足立 直樹	監査役	木下 徳明
取締役	西志 村卓	監査役	佐久間 国雄
取締役	亀山 明	監査役	前田 幸夫

当社の主要な事業所および工場

平成23年9月30日現在

本社	東京都港区東新橋一丁目7番3号	
事業所	営業統括本部	(東京都港区)
	製造統括本部	(東京都八王子市)
	東日本事業部	(宮城県仙台市)
	中部事業部	(愛知県名古屋)
	関西事業部	(大阪府大阪市)
	西日本事業部	(福岡県福岡市)
	東京データセンター	(東京都中央区)
工場	滝山工場	(東京都八王子市)
	福生工場	(東京都福生市)
	川本工場	(埼玉県深谷市)
研究所	開発研究所 (東京都八王子市)	

株主 (上位10名)

平成23年9月30日現在

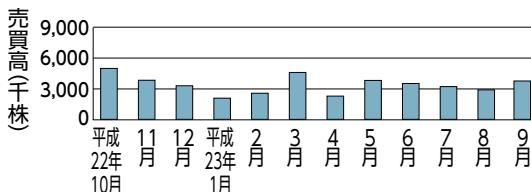
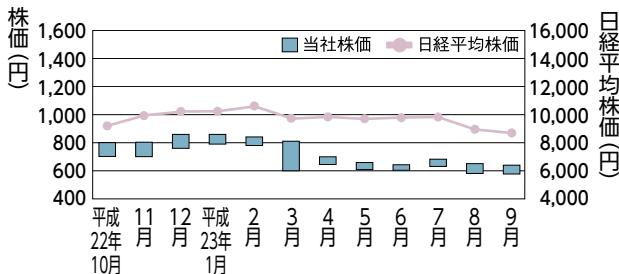
株主名	当社への出資状況	
	株式数 (千株)	持株比率 (%)
凸版印刷株式会社	67,419	60.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	5,258	4.7
資産管理サービス信託銀行株式会社	2,580	2.3
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	2,530	2.3
トッパンフォームズグループ従業員持株会	2,392	2.2
バンク オブ ニューヨーク ジーシーエム クライアント アカウント ジェイピーアールデイ アイエスジー エフイーエイシー	1,570	1.4
ノーザン トラスト カンパニー エイブイエフシーリ ユーエス タックス エグゼンプテド ペンション ファンズ	1,446	1.3
メロン バンク エヌイー アズ エージェント フォー イツ クライアント メロン オムニバス ユーエス ペンション	978	0.9
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505019	579	0.5
ザ バンク オブ ニューヨーク トリーティー ジャスデツク アカウント	575	0.5

(注) 1. 当社は自己株式 4,003 千株を保有しておりますが、上記の表から除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株価の推移・株式分布状況

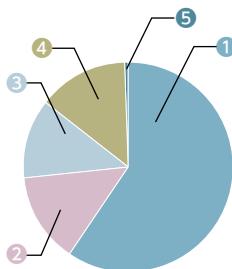
平成23年9月30日現在

株価の推移 (東京証券取引所)



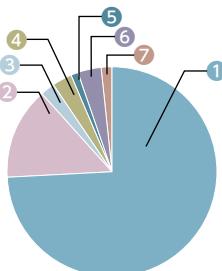
株式分布状況 (所有者別) (%)

① その他法人	68,571,801株	(59.6%)
② 外国法人等	15,912,875株	(13.8%)
③ 金融機関	14,071,600株	(12.2%)
④ 個人・その他	16,051,208株	(14.0%)
⑤ 金融商品取引業者	392,516株	(0.3%)



株式分布状況 (所有株数別) (%)

① 100万株以上	84,132,745株	(73.2%)
② 10万株以上	16,584,054株	(14.4%)
③ 5万株以上	2,395,593株	(2.1%)
④ 1万株以上	3,691,623株	(3.2%)
⑤ 5千株以上	1,798,494株	(1.6%)
⑥ 1千株以上	4,601,470株	(4.0%)
⑦ 1千株未満	1,796,021株	(1.6%)

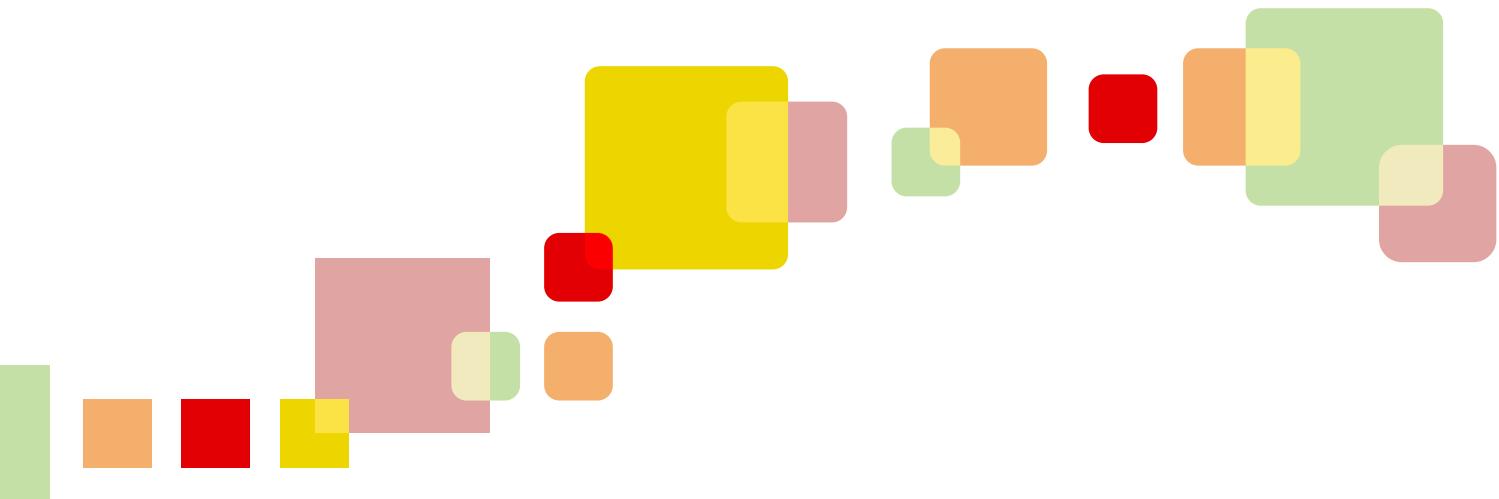


株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主確定基準日	定時株主総会・期末配当金 3月31日 中間配当を行う場合 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
公告方法	電子公告により、当社ホームページ (http://www.toppan-f.co.jp/) に掲載いたします。なお、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 0120-232-711 (通話料無料)
1単元の株式の数	100株
上場取引所	東京証券取引所
証券コード	7862

ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則として口座を開設されている証券会社等が受付窓口となります。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。郵便物等の発送・返戻、未受領の配当金等につきましては三菱UFJ信託銀行株式会社に承ります。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社に受付いたします。
- 特別口座に記録された株式を市場で売却する場合は、特別口座から直接売却することができませんので、証券会社等の口座に振替える必要がございます。



トッパン・フォームズ株式会社

本店 〒105-8311 東京都港区東新橋一丁目7番3号
<http://www.toppan-f.co.jp/>